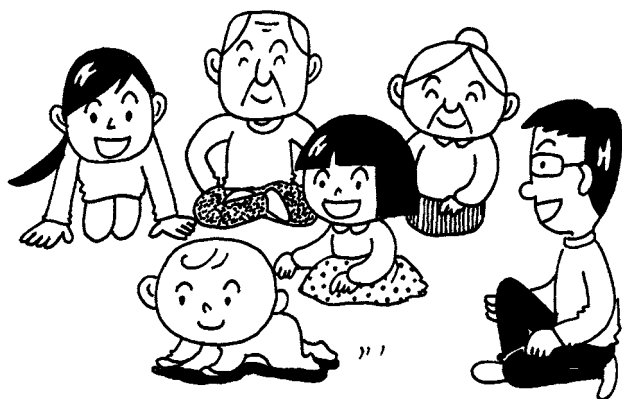


なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



「ごおん」って
どんなこと？

辞書を引くと、「恩」とは【めぐみ いくしみ 『広辞苑』】【めぐみ なさけ 親切 いくしむ 『日本語大辞典』】となっています。こころを込めて頂いたものを指すのですね。

さらに仏教では、四恩（衆生がこの世で受ける四種の恩）といいます。4つとは、①父母②国王③衆生④三宝（仏・法・僧）のことを指します。私をとりまく全てのいのちから頂いた恵みが「ご恩」なのですね。

例えば、ほとんどの人は幼な児に対し無条件にかわいいと思う「こころ」、護ってあげたいと願う「こころ」を持っていますが、この心は生まれただけでは存在しません。幼いときに親をはじめ兄弟や周囲の大人たちに、慈しみをもって育てられた経験があってはじめて生まれる「こころ」なのです。かわいいと思い護りたいと願うこころは、かつてわたしに向けられていた願いが、わたしの中で今まきにはたらいっている証なのです。

目に見えないけれど大切なこと、当たり前すぎて忘れがちだけれどとても大切なもの。忘れてはいけないもの。「ごおん」とはまさしくそのことを指しているのです。

その「ご恩」に報いようとする日々の営みを「御恩報謝」の生活といいます。私たちの教育・保育も、そのようにあり続けられたらいいですね。

毎日、時を告げるお寺の鐘が、「ガーン」ではなく「ギーン」でも「グーン」でもなく、「ゴォーン」と鳴り響くのは、「ご恩（を忘れないで）」「ご恩（に感謝しようね）」「ご恩（を返していく人生を歩もうね）」と、この私に語りかけるお浄土からの願いそのものなのだと聴かせていただいています。